

1 計画の目的

佐野市では、佐野市地域公共交通網形成計画（以下「網形成計画」という。）や佐野市地域公共交通再編実施計画（以下「再編実施計画」という。）を策定し、地域性や利用者のニーズを考慮した地域公共交通ネットワークを構築と、まちづくりに多面的な効果をもたらす公共交通利用への転換の促進を図ることを目指してきました。

このような中、日本国内で広がり始めた新型コロナウイルス感染拡大によって人々の生活様式が一変し、これまでの既存の交通サービスを維持できなくなることが懸念されます。さらに、交通サービスを通じて、地域社会の発展と国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」への取り組みも求められています。

本計画は、このような社会情勢を踏まえつつ、網形成計画や再編実施計画に代わり、未解決な課題や問題点及び計画策定後に新たに顕在した課題等に対応できるよう「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」に規定する「佐野市地域公共交通計画」としてとりまとめるものです。

2 計画の位置づけ

「第2次佐野市総合計画」をはじめ、「第2次佐野市総合交通マスタープラン」等を上位計画として、コンパクト・プラス・ネットワークの実現を推進していきます。

また、地方創生、福祉、教育、観光振興など関連する各計画との調和を取るだけでなく、交通面から各計画の実現を推進していきます。

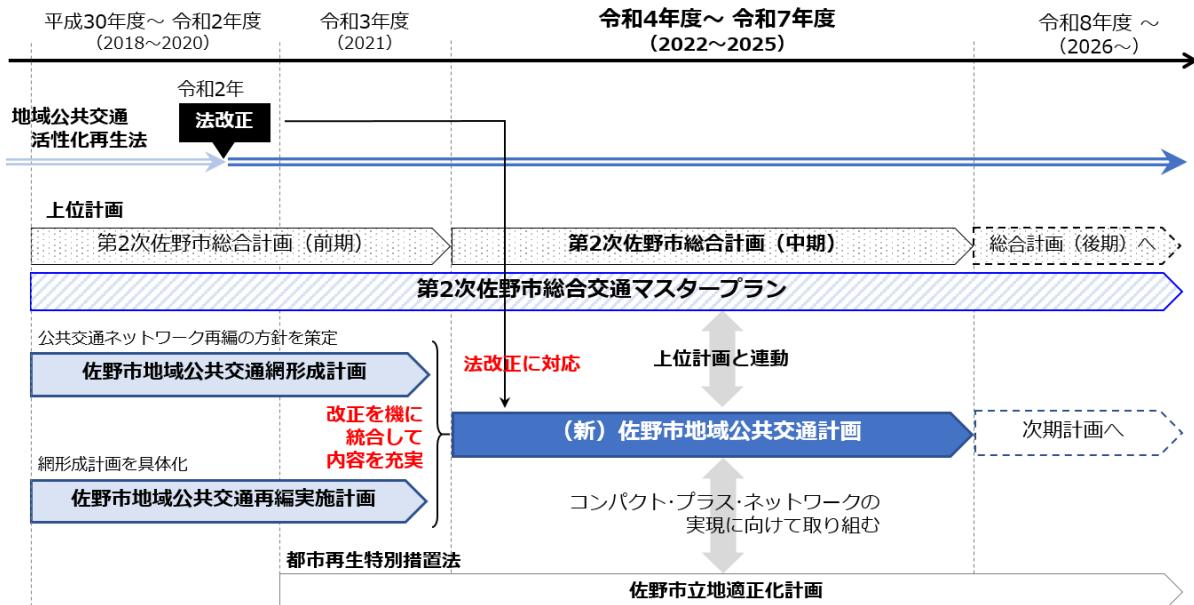


3 計画の区域

佐野市全域を対象とします。

4 計画期間

「第2次佐野市総合計画・中期基本計画」に合わせ、令和4年度から令和7年度までの4年間とします。



5 今後に向けた課題の整理

①地域公共交通を取り巻く社会情勢

- ・高齢ドライバーによる交通事故増加
- ・公共交通を担う運転手不足と運転手の高齢化
- ・アフターコロナにおける新しい生活様式の実践

②上位・関連計画で求められる公共交通の役割

- ・公共交通や福祉・教育等の輸送との役割整理と相互連携
- ・スムーズな乗継と交通結節点における機能強化
- ・厳しい財政状況における既存ストックの有効活用

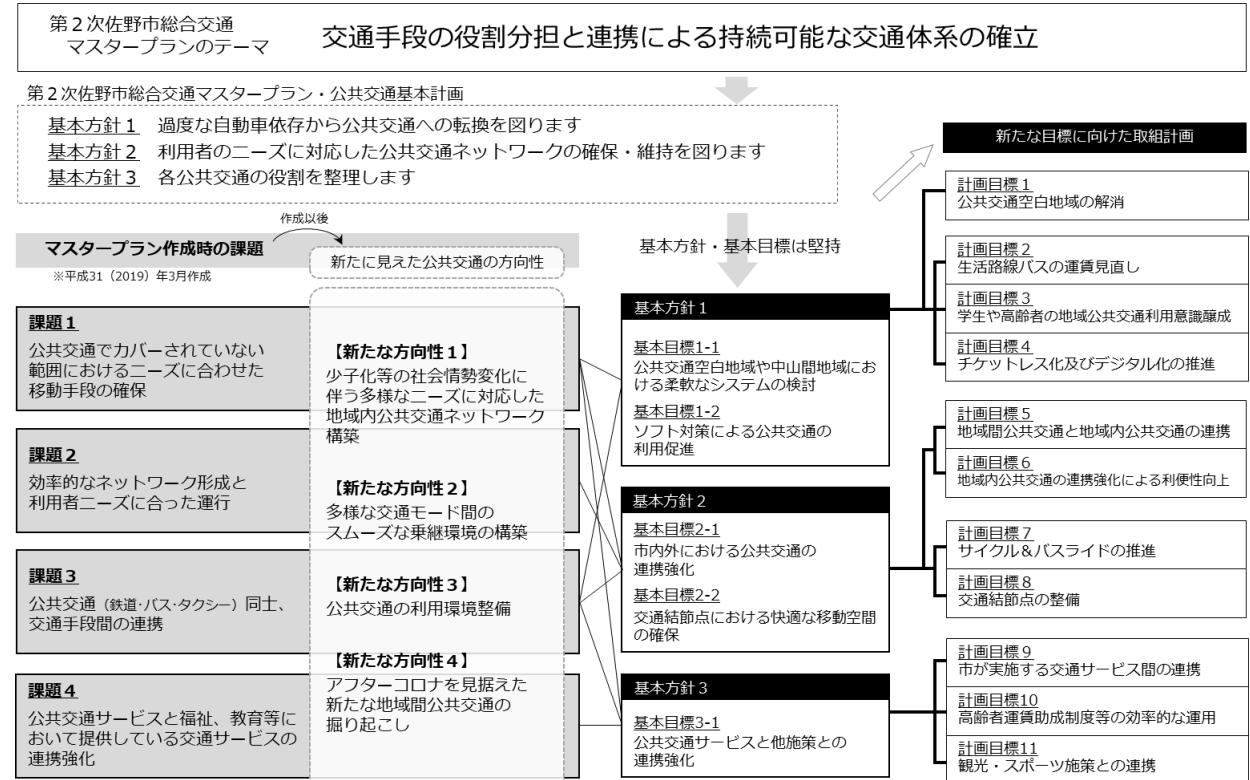
＜公共交通に求められる役割＞

- 過度な自動車依存から適切な交通手段への誘導
- 誰もが利用しやすい交通利用環境の構築
- 利用環境充実による定住促進

新たに見えた本市地域公共交通の方向性

- ①社会情勢変化に伴う多様なニーズに対応した地域内公共交通ネットワーク構築
- ②多様な交通モード間のスムーズな乗継環境の構築
- ③公共交通の利用環境整備
- ④アフターコロナを見据えた新たな地域間公共交通需要の掘り起こし

6 基本方針と計画目標



7 目標を達成するために行う事業

計画目標	事業内容	交通マス課題			
		1	2	3	4
基本方針1 過度な自動車依存から公共交通への転換を図ります					
基本目標1-1 公共交通空白地域や中山間地域における柔軟なシステムの検討					
計画目標1 公共交通空白地域の解消	事業1-1 デマンド交通の導入エリアの拡大	◎	○	○	
	事業1-2 既存デマンド交通の乗降場所拡大	◎	○	○	
基本目標1-2 ソフト対策による公共交通の利用促進					
計画目標2 生活路線バスの運賃見直し	事業2-1 利用しやすい運賃体系の構築			◎	
	事業3-1 小中学生の公共交通体験学習の開催			◎	
計画目標3 学生や高齢者の地域公共交通利用意識醸成	事業3-2 高齢者向けバスの乗り方教室の実施			◎	
	事業3-3 地域公共交通情報リーフレットの配布			◎	
	事業3-4 市内公共交通情報を網羅した時刻表の作成			◎	
計画目標4 チケットレス化及びデジタル化の推進	事業4-1 交通系ICカードの利用環境整備			◎	
	事業4-2 バス情報の見える化			◎	
	事業4-3 民間公共交通事業者と連携したMa a s等の実施			◎	
	事業4-4 次世代モビリティ活用の研究・検討	◎			
基本方針2 利用者のニーズに対応した公共交通ネットワークの確保・維持を図ります					
基本目標2-1 市内外における公共交通の連携強化					
計画目標5 地域間公共交通と地域内公共交通の連携	事業5-1 鉄道事業者と地域内公共交通の協力体制の構築		◎	○	
	事業5-2 高速バス事業者と地域内公共交通の協力体制の構築		◎	○	
	事業5-3 近隣市が運行するコミュニティバスとの相互連携体制の構築	○	◎	○	
	事業5-4 都市部への通勤・通学環境の充実		◎	○	
計画目標6 地域内公共交通の連携強化による利便性向上	事業6-1 交通手段間のダイヤ調整等によるスムーズな乗継体制の構築		◎	○	
	事業6-2 既存ストックを活用した効率的な地域内公共交通ネットワークの構築	○	◎	○	
	事業6-3 地域公共交通ネットワークの補完としてタクシーの活用	○	◎	○	
基本目標2-2 交通結節点における快適な移動空間の確保					
計画目標7 サイクル&バスライドの推進	事業7-1 地域の施設等を活用した駐輪場整備とサイクル&バスライドの促進			◎	
計画目標8 交通結節点の整備	事業8-1 佐野新都市バスターミナルの待合環境整備			◎	
	事業8-2 鉄道駅周辺整備及びバリアフリー環境整備の検討			◎	
基本方針3 各公共交通の役割を整理します					
基本目標3-1 公共交通サービスと他施策との連携強化					
計画目標9 市が実施する交通サービス間の連携	事業9-1 スクールバス等との協力体制の構築	○	○	◎	
	事業9-2 福祉輸送等との協力体制の構築	○	○	◎	
計画目標10 高齢者運賃助成制度等の効率的な運用	事業10-1 高齢者運賃助成制度の整理・統合の検討		○	◎	
	事業10-2 デジタル化等の効率的な運用の検討			◎	
	事業10-3 類似事業の統合・見直し			◎	
計画目標11 観光・スポーツ施策との連携	事業11-1 観光・スポーツイベントとの連携による二次交通確保	○		◎	
	事業11-2 サイクルツーリズムとの連携による市外からの新たな需要の獲得	○		◎	

凡例：課題との関連度合に応じて◎・○で表記



8 目標の評価指標

上記のIIの計画目標達成状況を確認するための評価指標を6つ設定します。

- ①地域公共交通利用者数
- ②サイクル&バスライド駐輪場設置数
- ③地域公共交通利用意識向上の取組件数
- ④生活路線バス ICカード決済数
- ⑤本市が保有するバス車両数
- ⑥生活路線バス営業係数

9 計画の進捗管理

- 計画の進捗管理はPDCAサイクルで実施する
- 各施策の実施状況の評価、評価指標の評価を毎年実施し、次年度の取組に反映する
- 計画最終年度は事業の成果を総括的に評価し、次期計画への見直しにつなげる

10 その他

- 持続可能な交通の実現に向けて、下記の項目についても取り組みます。
- 安全かつ安定的な輸送の確保
 - 危機管理への備え
 - 環境問題への対応
 - 地方創生への取組
 - これまでの運営体制からの転換